

鳩山幼稚園だより



ピジョっこ

いっぱいあそんでいっぱいまなで みんななかよしはとやまようちえん

園長 岡部 玲子 N08 令和6年12月号

11月下旬の寒暖差は大きく12月中旬のような気温の日もあったかと思うと小春日和、20℃くらいの日もありました。“秋うらら”という言葉もあるそうですが、冬に向かうとは思えない気温でした。登降園のバスから家の庭にミカンがたわわに実っている様子がたくさん見られます。かつてはミカンといえば、温暖な気候でないと実らない果物でしたが、それだけ温暖化が進んできたのかもしれませんが。(ただ幼稚園のミカンは相変わらず不作です。そしていくつか実っていても皮が厚くてスッパイ!にもかかわらず、カラスにはやられます。)



園庭のミカン、3つ。
1つはカラスに食べられていました。

さて、子供たちは今12月14日のお楽しみ発表会を目指して、一生懸命練習に励んでいます。当日は練習の成果を保護者の皆さんに見てもらえることを楽しみにしています。

お隣の保育園とお隣の中学校とふれあい体験 —小さな町だからこそ—

11月19日(火)と26(火)に中学校の技術家庭科(家庭分野)「家族・家庭生活」の授業の一環で、鳩中3年生と私立ひばり保育園が幼稚園で一緒にふれあい体験を実施しました。

体験によって、幼稚園と保育園の子供たちにとっては経験や遊びの興味が広がる。人とかがわる楽しさを知る。中学生とふれあうことで成長へのあこがれを持ったり、将来的な見通しを持ったりできる。中学生にとっては幼児に受け入れられ頼られることに、年長者としての自覚が生まれ喜びを感じ自信につながる。遊びの楽しさを思い出し、素直に自分の気持ちを表現できるようになる。優しさや思いやりの気持ちが生まれる。などのメリットがあると考えています。

幼稚園の子供たちは、初めは緊張している様子も感じられましたが、中学生がいろいろなゲームを考えてきて幼稚園保育園の子供たちを喜ばそうとしている姿を感じることができました。子供たちもすっかり打ち解け、中学生が作ってきた手作りの、輪投げやフェルトのサイコロなどで、大喜びで遊んでいました。外遊びでは幼稚園と保育園の子供たち、中学生も交じって砂場や園庭の遊具と一緒に遊んだり、元気いっぱい体を動かして遊んでいました。終わりの会では園児一人一人が中学生に手作りのペンダントをもらいました。保育園の子供たちが帰る時には、中学生が幼稚園の門まで走って行って幼稚園の子供たちと一緒に手を振る姿は、ちょっとドラマチックな感じでした。

26日のふれあい体験ではテレビ埼玉が撮影に来ました。午前11時頃、最初の映像を本社に送り11時55分の5分間ニュースで鳩山幼稚園でのふれあい体験が放送されました。11時30分頃に幼稚園と中学校の代表の子供たちのインタビューがあり、その映像は午後5時30分からのニュースで放送されました。提案した幼稚園側の思いと一緒に活動した幼児・生徒の思いがまさにリンクしたニュース内容になっていたと感じました。

鳩山町は小さな町です。だからこそ、みんなで子供たちを育てていくことが大切だと考えています。保育園は私立ですが、ほとんどの子供は一緒に町内の小学校へ進学します。公立・私立の枠を外し活動することは意義のあることです。(毎年、幼保連携として3学期に3回ほど、お互いの幼稚園や保育園に行って一緒に遊んでいます。)今回、中学生と授業を通し一緒に活動したことで、お互いが新しい世界を知ることができ、思いやりやあこがれの気持ちにもつながっていったと思います。大きな収穫でした。

ずっと幼・保・中連携したいと思っていましたが、様々な事情でなかなか実現しませんでした。校長先生や家庭科担当の先生、保育園の先生方のご理解・ご協力により一歩が踏み出せたと感じます。今後もこういった取組が当たり前のようになり、教育課程の中で組み込まれていければと思います。



「くじら」のまね
を見せてくれました



手作りのゲーム



外でも遊びました



インタビュー

活動の流れ <12月>

時期	もも さくら 組	にじ組
12月上旬	<お楽しみ会に向けて> ・お話の役になって遊び、歌を歌う。 ・オペレッタのダンスをみんなと一緒に踊ったり、役に分かれて踊ったりする。 ・オペレッタや歌に必要な物を作る。	<お楽しみ会に向けて（劇）> ・劇の役割分担を話しあって決めて練習する。 ・お楽しみ会に向けて大道具や小道具等必要な物を作る。
中旬	・舞台でのオペレッタのすすめ方や並び方、舞台への出入りの方法を知っている。	<お楽しみ会に向けて（歌）> ・歌を覚えて歌う。
下旬	友だちや年長組の前で演技する。 お楽しみ会に参加する。 もちつき大会に参加する。 2学期終業式に参加する。	友だちや年少・年中組の前で演技する。 お楽しみ会に参加する。 もちつき大会に参加する。 2学期終業式に参加する



【11月のピジョっこフォト】<幼稚園の毎日>

*お店屋さんごっこ（にじ組） 11月8日（金） 町の人権の授業と兼ねました。 *さくら・もも組もお店屋さん



*図書館訪問
11月7日（木）13日（水）



*山短訪問 ヨーフラ ヨーフラにご招待
11月22日（金） お仕事体験してきました。



*ポンポコの会 クリスマスコンサート
11月27日（水） 生の演奏はすてきです。

*イングリッシュ *小春日和 お外で給食
11月28日（木） 11月29日（金）



園長会の研修で深谷市立おかべ幼稚園に行ってきました。幼稚園と保育園の一体型幼稚園で、広い園庭に安全確保された遊具と、子供たちの気づきを促す環境構成など、（なるほどなあ〜！）と思うことがたくさんありました。他の幼稚園を視察に行くことは最大の研修になります。3歳の子供たちが元気に活動している様子に、来年入園する「ひよこ組」の子供たちも、半年経つとこのように成長していくのかと、思いを巡らせました。



ピジョっこみんなのファーム

○グリーンピースとソラマメの種まき（11月12日）

日本豆類協会（公財）からもらった8種類の種の中から秋に種をまくグリーンピースとソラマメの種をまきました。売っているソラマメの種は着色されているのと初夏に食べたソラマメは未熟なタネのため緑色（エダマメと同じで未熟のため緑色）だったので、種になるまで育てて茶色になった種は初めてで、茶色の種がソラマメとは一致しなかったようです。グリーンピースは早く芽が出たのですが、ソラマメはなかなか出ません。よく見ると一つだけほんの少し出てきていました。（今後に期待）



種まき



11月29日



保護者お土産用各自で収穫



試食用洗います。

○一人一鉢ビオラ植え（11月18日）

町から、人権の花として今年もビオラのポット苗をもらいました。今年は例年よりたくさんもらったので、子供たちは「一人一鉢」で好きなビオラを選んで自分の一鉢は自分で植えました。お水のあげ方を教え、その後は自分たちで水やりをしていました。自分で植えたお花にはより愛情を感じるのか、水やりも一生懸命やっていました。

後日「鉢の土が乾いたらたっぷりやってね。」と教えると、さくら組の子供たちは鉢の土を確認してから、お水をやっていました。子供ながら（えらいなあ！）と感心しました。

今年も冬休み前に、自分の鉢を家に持って帰って冬の管理をお願いします。卒園式に会場に飾ります。



一人一鉢



水やりのレクチャー



やってみよう！



土の乾き具合を確認

○ラッカセイの収穫（11月21日）



ポットに種をまいて苗にして6月にプランターに植えた落花生。葉っぱがだいぶ萎れてきてそろそろ収穫しても良さそうになりました。初めての栽培でしかもプランターだったので、落花生がこんなに横に広がっていくとは予想しませんでした。花が咲いて子房柄がどんどん下に下がって来て土を探していたので、あわててプランターをつけ足していくという栽培をしてしまい、収穫量は期待しなかったのですがそれでも土の中から🌰が出てくると「おおー〜！」と歓声が上がりました。みんなで落花生を外しました。子供も大人も初体験でした。



掘ります！



おおー！



らっかせい！



?根っこに丸いものがついている！

【科学の芽ばえ】第2弾・・・何だろう？の気づきを育てたい。

🌱（ラッカセイ）の根っこにも何かついているよ。

👉根っこに丸いものがついている！・・・枝豆の根っこにもついていたよ！こんな気づきの積み重ねを大切にしたいと考えています。

*エダマメやラッカセイの根についている丸い粒々は根粒菌です。根粒菌はマメ科植物の根に共生して窒素を植物に供給しています。ですからソラマメにもあります。窒素は植物の成長に不可欠な元素です。

「こどもの詩」募集しています！ 🌈👧👦👩👪👶👷👮👰👲👳👴👵👶👷👮👰👲👳👴👵



げんきっこ！



<ピジョっこ学級通信>

もも・さくらぐみ



『お兄さんお姉さんが遊びに来てくれました！』

もも組担任 窪田幸恵 さくら組担任 坂野繭菜

図書館訪問に行ったり、にじ組さんにお店屋さんごっこのお返しをしたり、他にもたくさんのイベントを経験したもも・さくら組さんです。

11月19日、26日には、2週にわたり鳩山中学校3年生のお兄さん、お姉さんが幼稚園に遊びに来てくれました。お部屋では、じゃんけん列車や猛獣狩り、手作りサイコロを使ったゲームをしたり、園庭では子供たちのやりたい遊びで一緒に遊んでもらったりしました。はじめは緊張していた様子のもも・さくら組さんでしたが、お兄さんお姉さんが優しく話しかけてくれたり、ゲームをしたりして遊んでいく中で、気持ちもほぐれて沢山の笑顔や楽しそうな姿がありました。



じゃんけん列車や猛獣狩りは、大人数ですると盛り上がるゲームなので、お兄さんお姉さんとの交流は、子供たちにとって貴重な体験となりました。また最近では、生活の中で数字を数える場面もあり、ゲームの中で動物の名前の文字の数を数える場面では、『き・り・ん』などと指で一生懸命に数えながら楽しむ姿も見られました。少人数だからこそできるゲームもありますが、大人数だからこそ楽しむことができるゲームもあり、交流などの際にたくさん経験できるようにしていきたいと思えます。

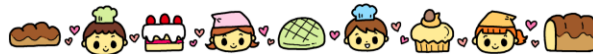
にじいろ

『☆みんなで集合するのはどう？☆』

にじ組担任 星野佐和子



先日のお店屋さんごっこでは、完売を目指して「エイエイファイヤー！」とにじ組のみんなで円陣を組み活動がスタートしました。「いらっしゃいませ！」とお客さんとのやり取りを進める中、自分たちが作った商品が売れていくと、少しずつ自信がつき次第に声も大きくなっていく姿が見られ、それぞれにお店屋さんを楽しむことができました。お店が閉店した後は、楽しかった余韻に浸りながらそのままホールで給食を食べることにしました。みんなが満足そうな顔を見せる中、給食の牛乳で乾杯をすると恥ずかしそうにAちゃんが言いました。「この後みんなで登り棒に集合するのはどう？」それを聞いた子供たちは「凄くいい考え！」と返し、嬉しそうにAちゃんが笑いました。



みんなの前に立ち、声を掛けることにドキドキとした様子を見せるAちゃんですが、友達と一生懸命に準備をして迎えたお店屋さんごっこが終わり、頑張って商品を売り切った達成感と嬉しい気持ちから、Aちゃんの『思い』がこの言葉となり出てきたようです。お店屋さんごっこを通し、にじ組の子供たちは友達に“見てほしい・聞いてほしい”など、友達同士での関わりが少しずつ深まり始めているようです。仲間の良い考えやひらめきに共感をしたり、自分の気持ちを伝えたりしながら相手の気持ちにも耳を傾けられるようになってきています。お楽しみ会の活動に取り組む中で、子供たち同士が考えを出し合い試行錯誤しながらも自分たちで劇を作り上げる楽しさや、喜びを味わえるように働きかけていきたいです。